山下

精神障害者への福祉資源の充実を

グループホームへの補助事業を実施

市長

問　府内で格差を強いられている南丹病院精神科外来、入院体制の現況と充実に向けての所見は。

市長　病院管理者としては、常勤医師の配置は困難。複数医師が必要となる入院対応もできないーとの立場であるが、市としては改善を求めていきたい。

問　精神障害者に対するグループホームや訪問看護などの充実が必要では。

市長　グループホーム事業促進として23年度から新たに補助事業を始めるが、足らざる部分は南丹圏域全体での取り組みが必要。

問　「市男女共同参画行動計画」が21年3月に策定されたが以下の点について問う。①審議会等及び市管理職への女性の登用の現状と計画達成②行動計画推進体制の現状と今後③男女共同参画推進条例制定の考え。

市長　審議会等への登用率の目標30％を下回っている。〝充て職〟の課題もあるが、比率の改善に努める。

女性管理職の割合は13％。女性の課長補佐が少なかったのが背景にあるが、今後は増えていくものと考える。

行動計画の推進は、市民課を中心に事業を進めているが「全庁的な体制にない」との指摘を踏まえ精査していきたい。

条例制定は必要と考える。時期は明言できないが、市民の皆さんの意見や行動計画との整合などを見定めた上で制定したい。

山下　秋則 議員

精神科の診療体制の充実が求められる公立南丹病院

サルの捕獲用おり

林

不正咬合矯正治療費に保険適用を

どういう形の対応が出来るか努力

市長

問　治療が必要な不正咬合者が27・5％を占めるといわれる中、学校歯科医や親御さんからも、不正咬合で生活に支障がある子供の高額な医療費に、保険適用がなされないのかとの切実な声がある。矯正治療費の助成制度創設及び府や国への保険適用の働きかけが出来ないか。

市長　国の医療保険制度の見通しが無い限り対応は困難だが、歯科医とも相談し、今後検討していきたい。

サル被害の窮状に一歩踏み込んだ取り組みを

問　サルが人馴れしてきたことで被害がさらに深刻化している。安心安全を第一に、捕獲計画基準等の見直しは図れないか。また学校の対策は。

市長　愛護団体や法的課題の壁があるが、改善に向け取り組んでいる。

教育長　集団による登下校、遭遇時の注意点の徹底、学校の出入口を閉める等の防御策を取っている。

市職員OBの天下りの実態は

問　失業し雇用の場を求めている人が溢れている中、職員OBの天下りがあると聞くが人数は。

市長　市の出資比率25％以上の法人が12団体あり、2名が職に就いている。再就職をお願いしたことは就任以来ない。

林　茂 議員

23年2月 臨時会

2月3日、臨時会を開会。国の緊急総合経済対策として一次補正で予算化された地域活性化交付金(きめ細かな交付金)及び住民生活に光をそそぐ交付金並びに地方交付税の追加や市の組織再編を行う組織条例の一部改正などが提案され、いずれも原案どおり可決しました。

予　算

■主な収入

地方交付税	9,687万円
国庫支出金	2億3,914万円（きめ細かな交付金）
	5,300万円（住民生活に光をそそぐ交付金）
府支出金	80万円

■主な支出

地域情報基盤整備事業	2,100万円
スプリングスひよし施設整備事業	2,650万円
戸籍システム更新事業	3,748万円
高齢者福祉施設改修事業	1,100万円
保育所改修事業	2,063万円
簡易水道事業特別会計繰出金	1,000万円
農業関連施設改修事業	961万円
道路新設改良事業	6,610万円
防災無線整備事業	1,545万円
住民生活に光をそそぐ基金積立金	3,800万円
図書館図書購入事業	513万円

条例改正

南丹市組織条例の一部改正

- 「企画管理部」及び「総合政策室」を統合し、「企画政策部」に改める。
- 「市民部」と「福祉部」を統合し、「市民福祉部」に改める。

川勝

八木駅舎等周辺整備の基本設計は

今後JRと調整しながら進めていく

市長

問　八木駅舎改築及び周辺整備の23年度調査結果の具体的な内容は。また、定住促進のため都市計画道路の整備に伴い、ライフライン確保が必要不可欠と考えるが。

市長　上下水道の整備は、都市計画道路の整備と併せ十分な協議をしていきたい。

部長　ボーリング調査等の費用を計上している。跨線橋の基礎的な支持力の部分や位置関係と併せて、バリアフリーも重要なポイントである。

プロジェクトチーム（PT）の具体的な内容は

問　組織再編に伴い、重要施策の推進や課題解決に向けたPTが設置されるが、個別目標や年次計画は。

市長　市有資産の有効活用、ものづくりのまちの実現、幼保一元化、南丹ブランドの確立、定住促進、下水道経営の健全化について、4月から半年間で取り組む。

社協八木支所の駐車場整備は緊急課題

問　社協八木支所の駐車場はスペースが狭く、利用者に不便をかけている。緊急自動車の対応など早急に解決しなければならないと考えるが。

市長　農地転用等法的に困難な状況で、農地以外の土地の検討も含め、関係者と協議の上、早急な解決に向け努力していきたい。

川勝　儀昭 議員

駐車場整備が急がれる社協八木支所